








～印刷編～

目次

ペーパーレイアウトにビューポートを配置してみましょう

1. 図面を印刷しましょう
 - 図面を開く
 - 印刷設定
2. 印刷範囲を設定して印刷しましょう
 - 印刷範囲設定
3. 印刷レイアウトを設定してみましょう
 - ペーパーレイアウト
 - ペーパーレイアウトに図枠を配置
 - ビューポートの登録
 - ビューポートの配置
 - ビューポートの移動
 - ビューポートの通り芯作画
 - 印刷
4. 図面を保存しましょう
 - 図面を保存する

マウスの使い方

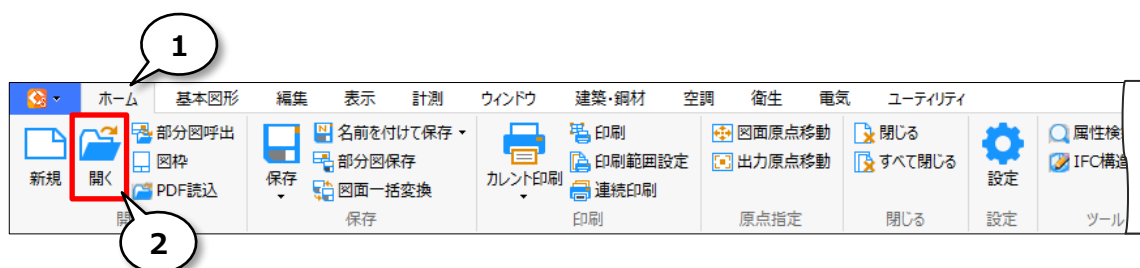
- | | |
|---|-------------------------------------|
|  | …指示位置をクリック (左クリック) します。 |
|  | …指示位置をマウス右ボタンでクリックします。 |
|  | …指示位置をダブルクリック (左2回クリック) します。 |
|  | …マウスを表示位置に近づけます。 |
|  | …[Ctrl]キーを押しながらクリック (左クリック) します。 |
|  | …[Shift]キーを押しながらクリック (左クリック) します。 |
|  | …マウス右ボタンをクリックしたまま移動します。 |
| 右ドラッグマウス移動 | |

1. 図面を印刷しましょう

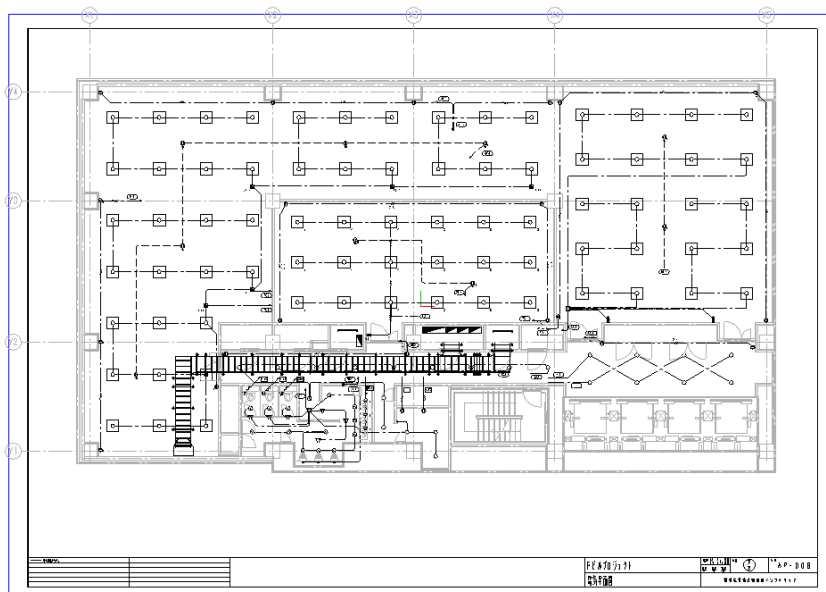
➤ 図面を開く

使用する図面は [Smart_40_B06_印刷開始.ZDW]

リボンの「ホーム」から「開く」をクリックします。

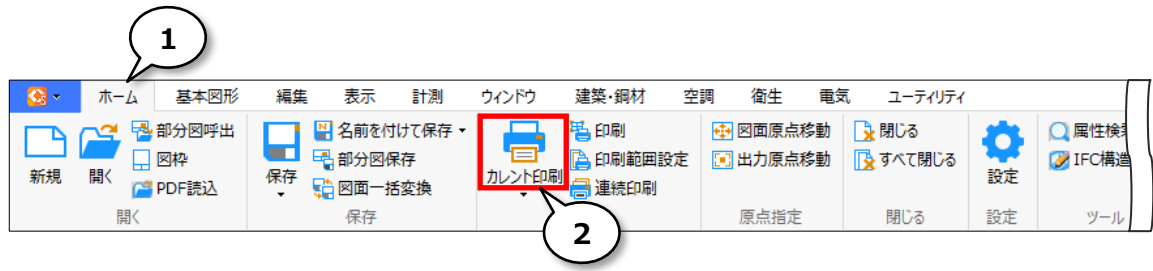


ファイルを選択し、「開く」をクリックします。



印刷設定

リボンの「ホーム」から「カレント印刷」をクリックします。



現在カレントになっている「既定」（「＝平面図」）を「印刷対象」として設定画面が表示されます。
プリンター、用紙サイズ、印刷色などの印刷環境を設定します。
その他、必要に応じて出力設定を行います。



出力設定

「表示に従う」を選択すると、図面上作画している色や線幅で出力します。印刷を画面上と変えたい場合は、「設定に従う」を選択し「設定」します。

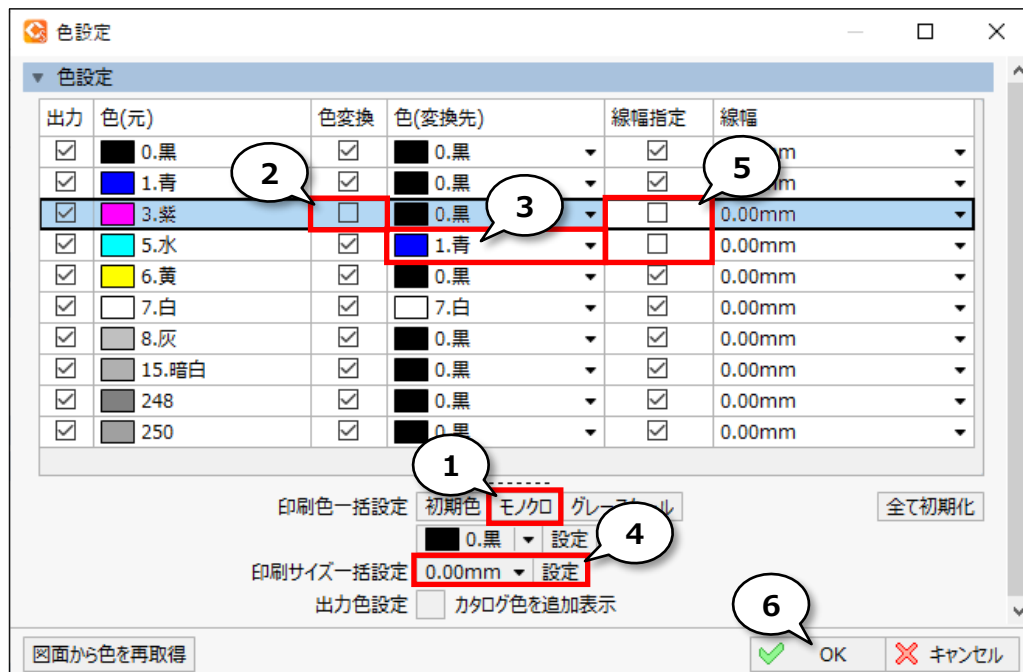
「色設定」を行います。

印刷色一括設定で「モノクロ」を選択します。（変換先列の色が全て「黒」に設定されます。）

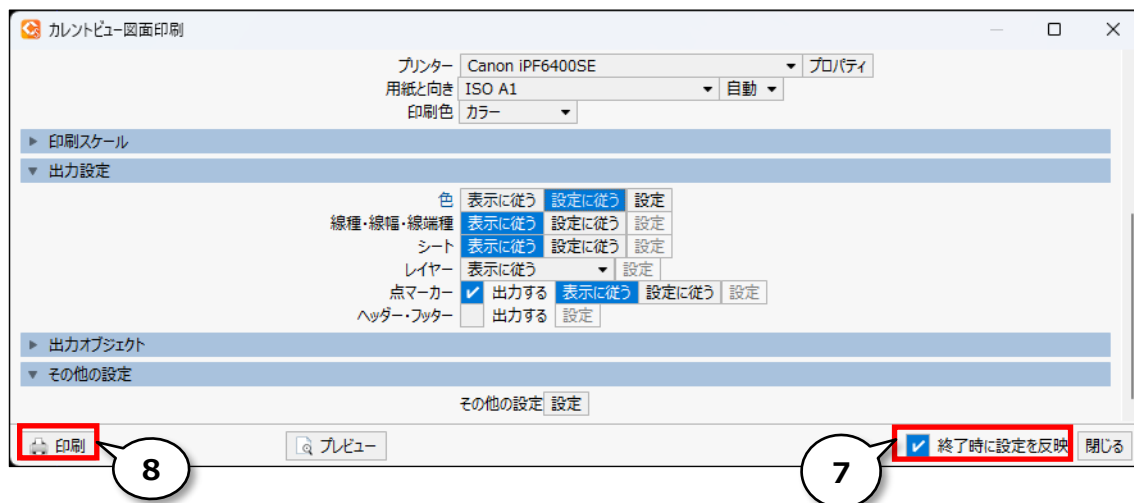
「色（元）」が「3.紫」の「色変換」をOFFにし、「色（元）」が「5.水」の「色（変換先）」を「1.青」に変更します。

印刷サイズ一括設定で線幅「0.00mm」にし、「設定」をクリックします。（線幅指定が全てONになり、一括設定されます。）

「色（元）」が「3.紫」「5.水」の「線幅指定」をOFFにし、「OK」をクリックします。



「終了時に設定を反映」をONにし、「印刷」をクリックします。



補足
説明

印刷色

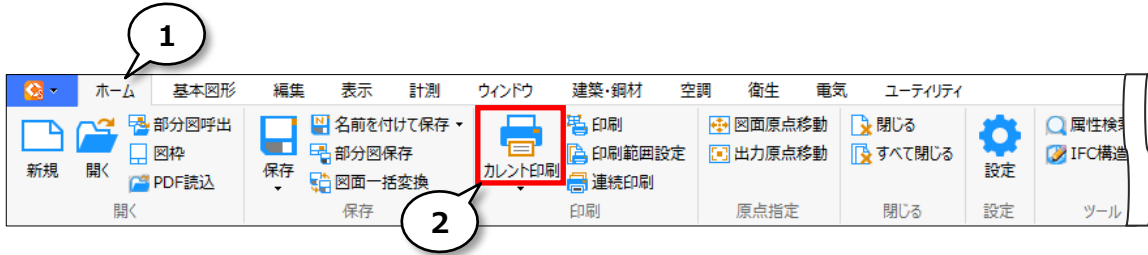
カラーで印刷する場合は、プリンターの「プロパティ」内もカラー出力になっていることを確認してください。



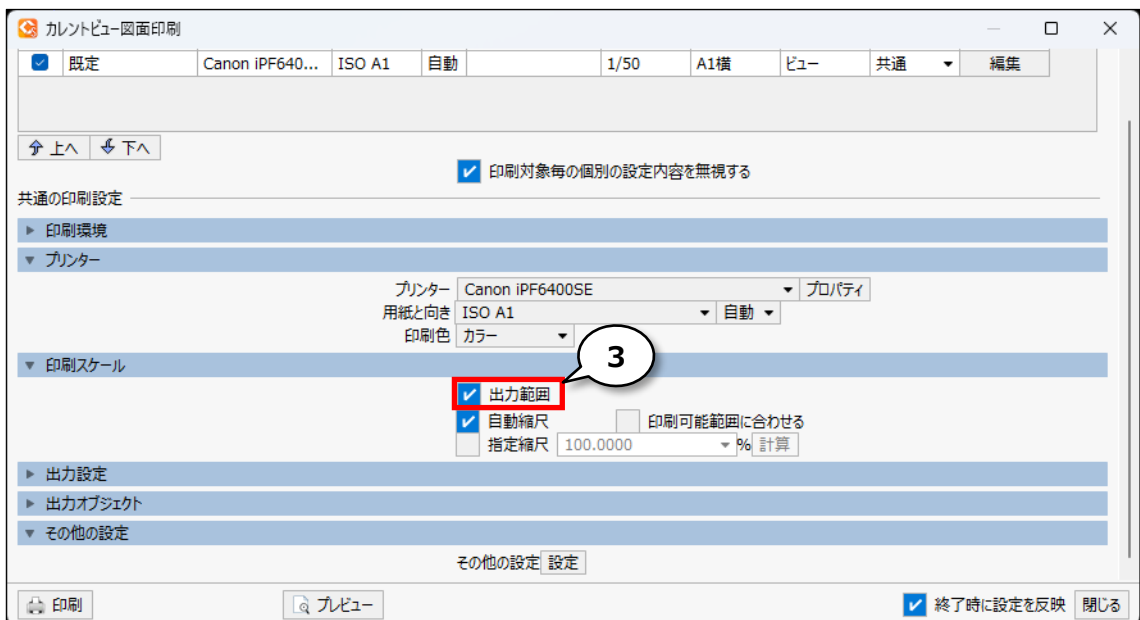
2. 印刷範囲を設定して印刷しましょう

➤ 印刷範囲設定

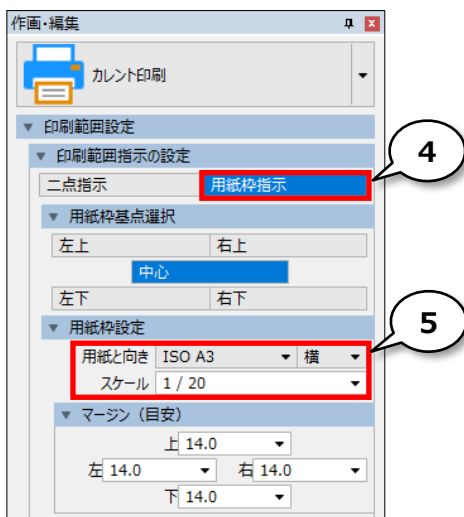
リボンの「ホーム」から「カレント印刷」をクリックします。



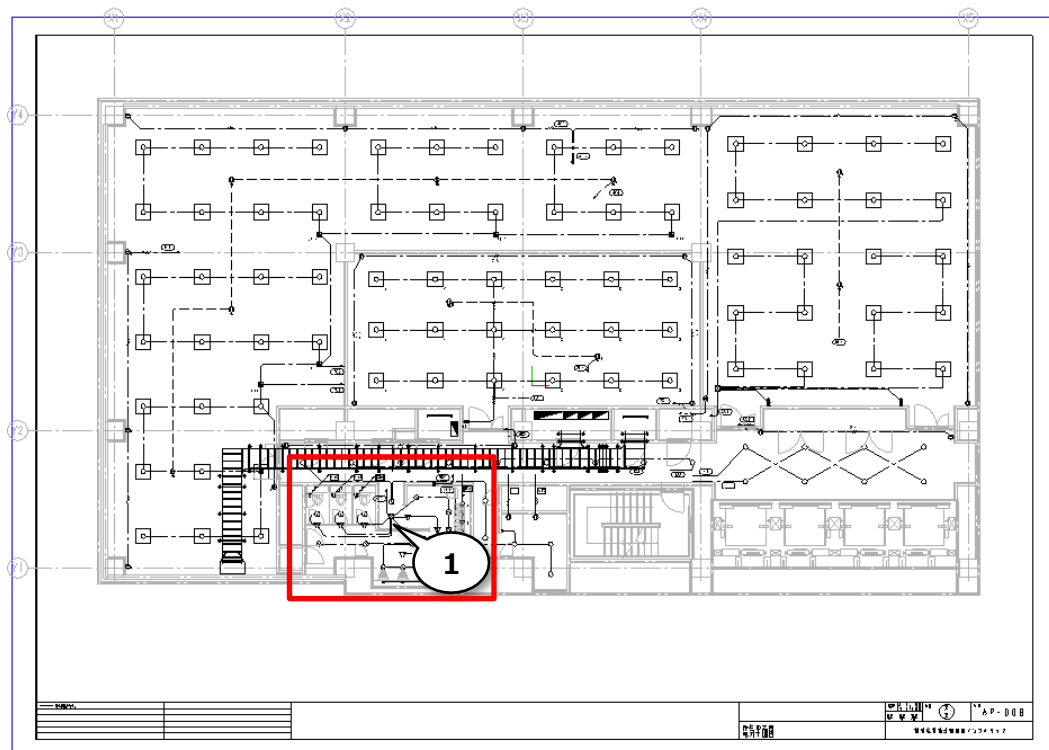
「印刷スケール」の「出力範囲」をONにします。



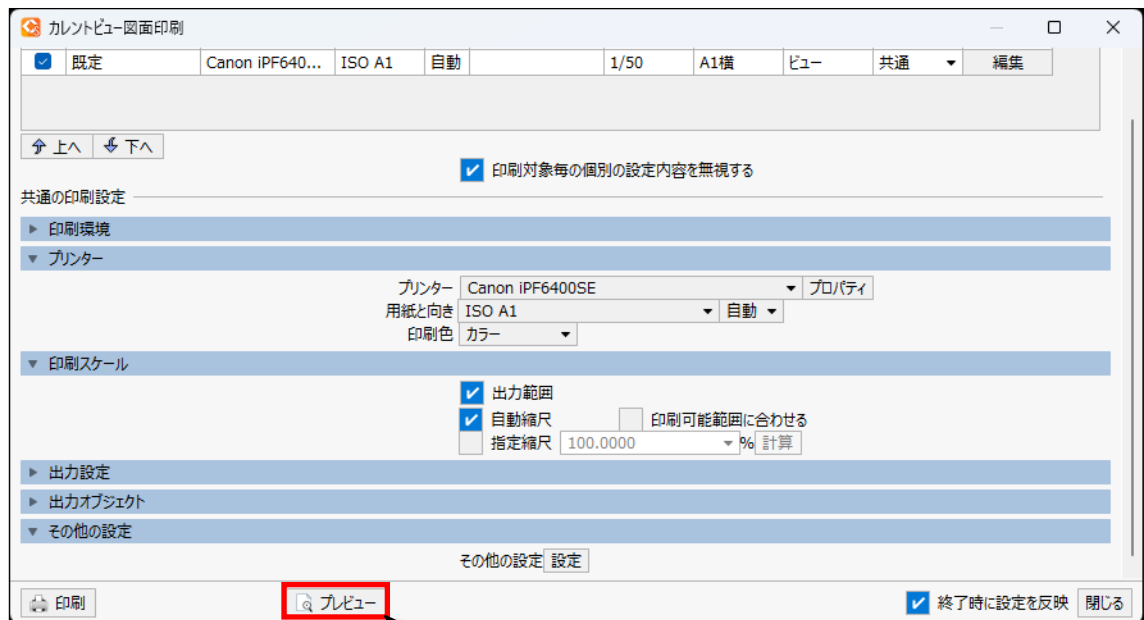
「印刷範囲設定」の「用紙枠指示」をONにし、印刷したい用紙とスケールを設定します。



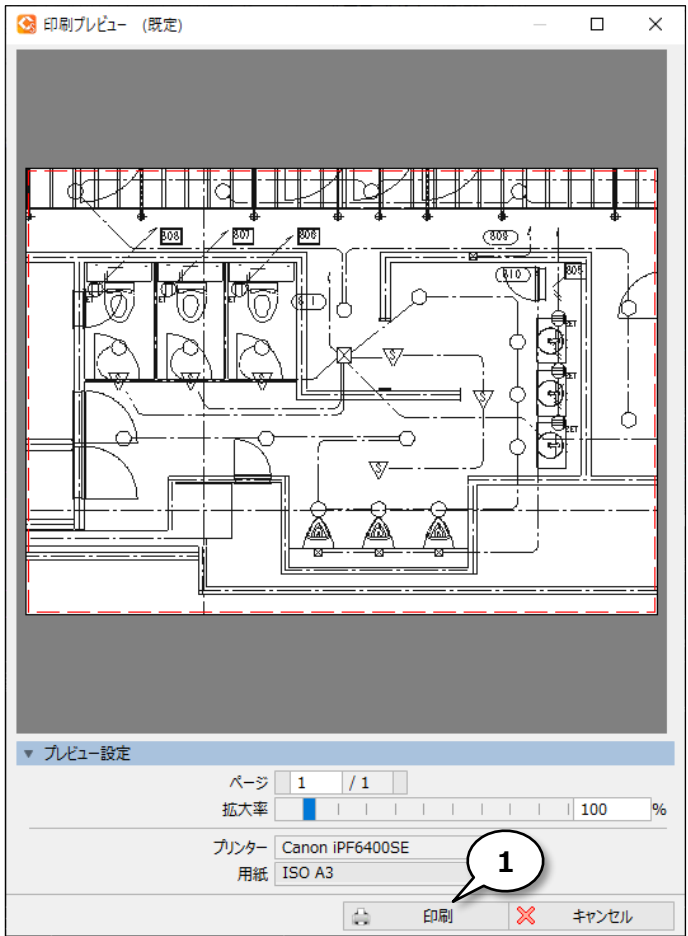
印刷したい範囲を指示します。



「用紙枠指示」で設定した用紙サイズで、プリンターの設定画面が表示されます。



プレビューを確認し、「印刷」をクリックします。



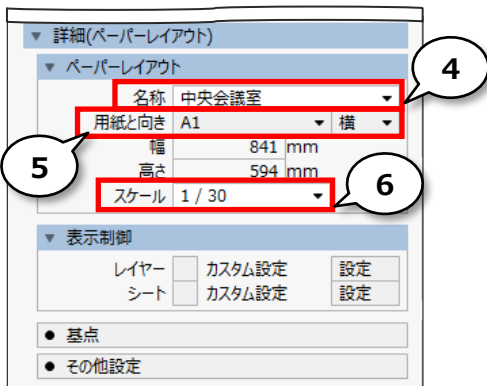
3. 印刷レイアウトを設定してみましょう

➤ ペーパーレイアウト

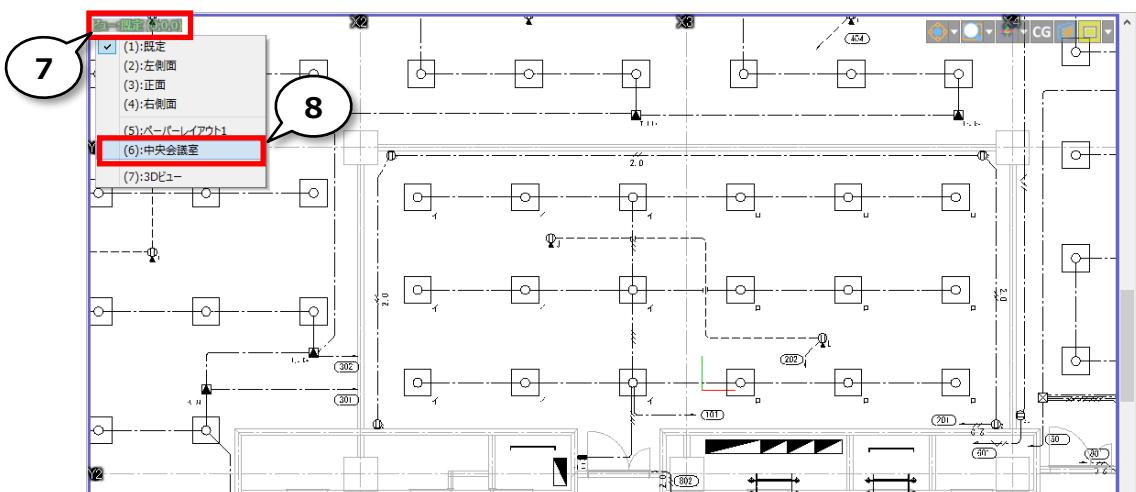
「図面・ビュー管理」から「図面（印刷）」－「ペーパーレイアウト」を選択し、「新しいペーパーレイアウトを追加」をクリックします。



「詳細（ペーパーレイアウト）」の名称に「中央会議室」を入力します。
用紙と向きは「A1横」、スケールは「1/30」を選択します。

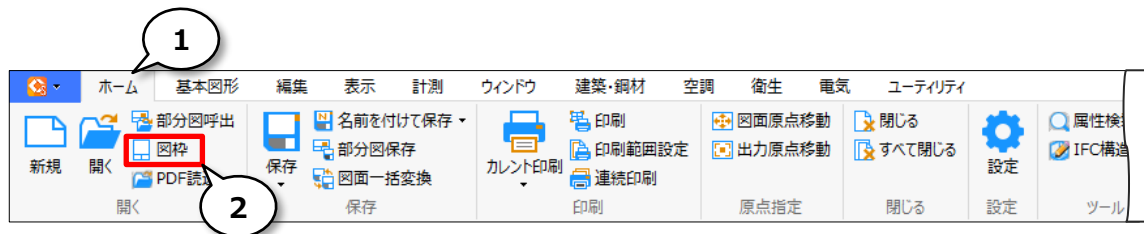


ビューを切り替えてペーパーレイアウトの「中央会議室」を表示します。



➤ ペーパーレイアウトに図枠を配置

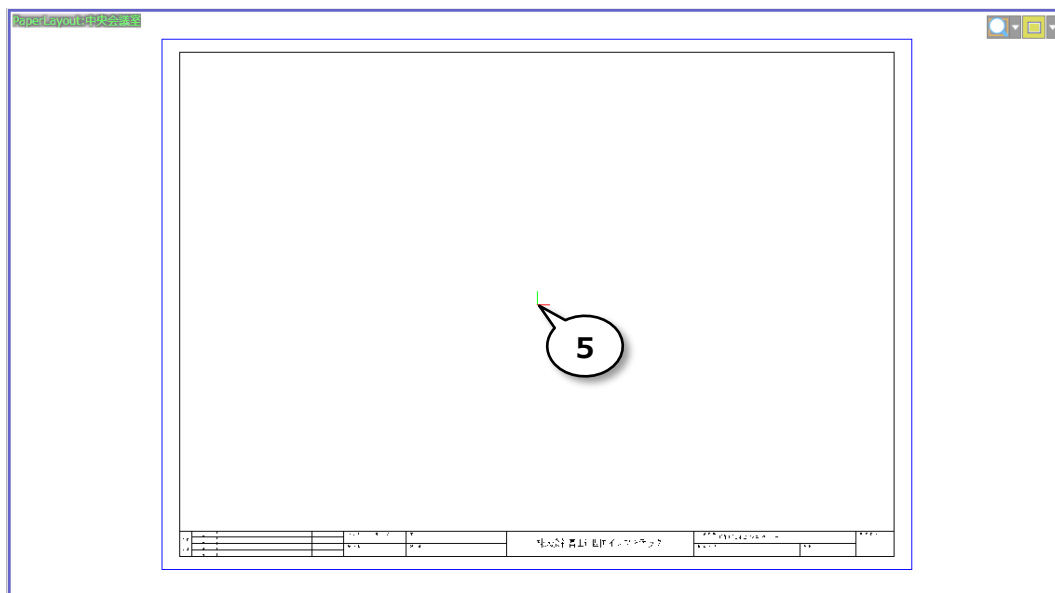
リボンの「ホーム」から「図枠」をクリックします。



ファイル「Smart_40_B05_図枠.ZDW」を選択し、「開く」をクリックします。

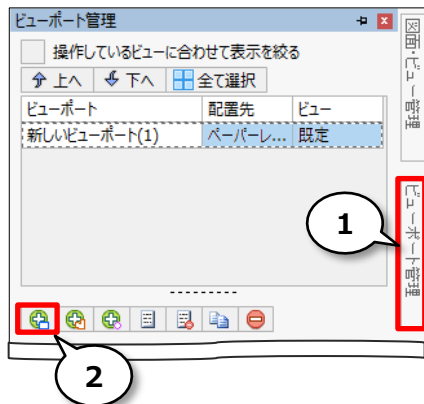


図枠を配置します。

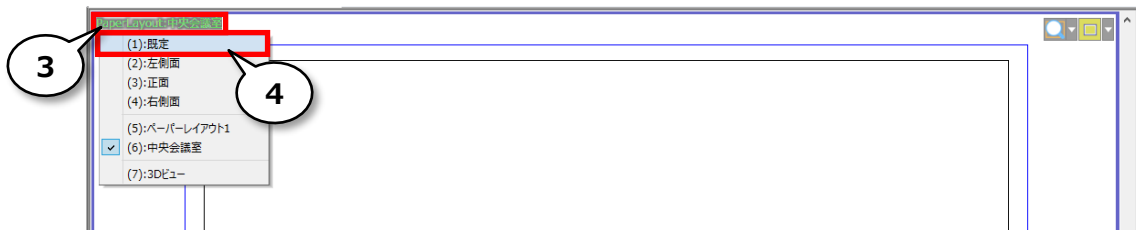


➤ ビューポートの登録

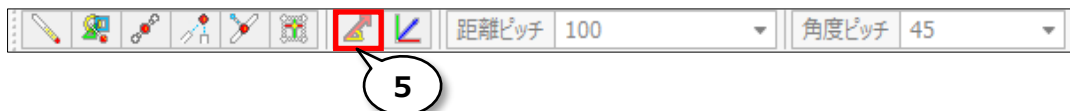
「ビューポート管理」から「追加（矩形）」ボタンをクリックします。



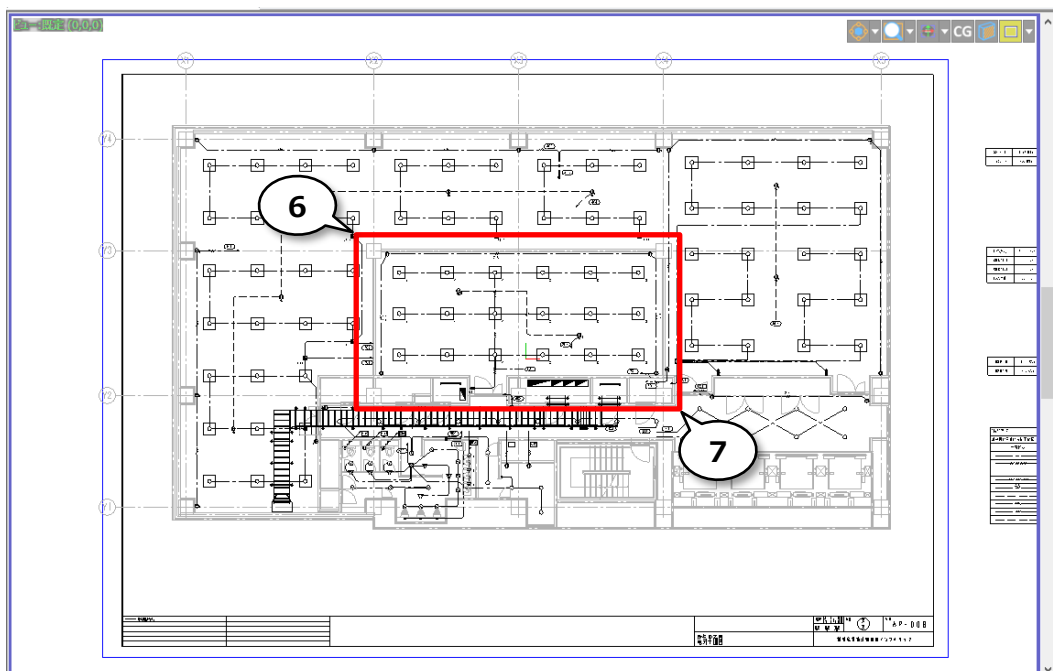
ビューを切り替えて「既定」を表示します。



「ベクトル」をOFFにします。

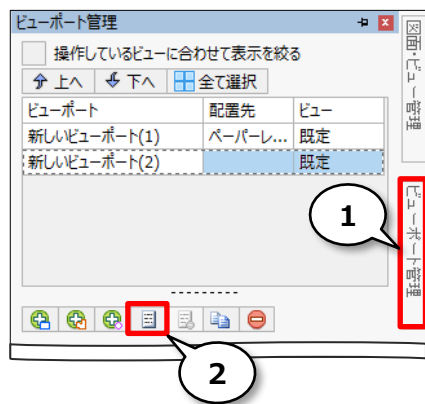


登録する「ビューポート」の範囲を指定します（四隅の柱が入るように範囲選択します）。

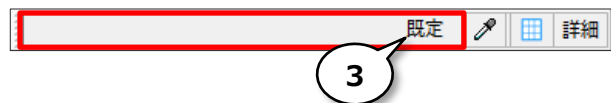


➤ ビューポートの配置

「ビューポート管理」から「配置」ボタンをクリックします。

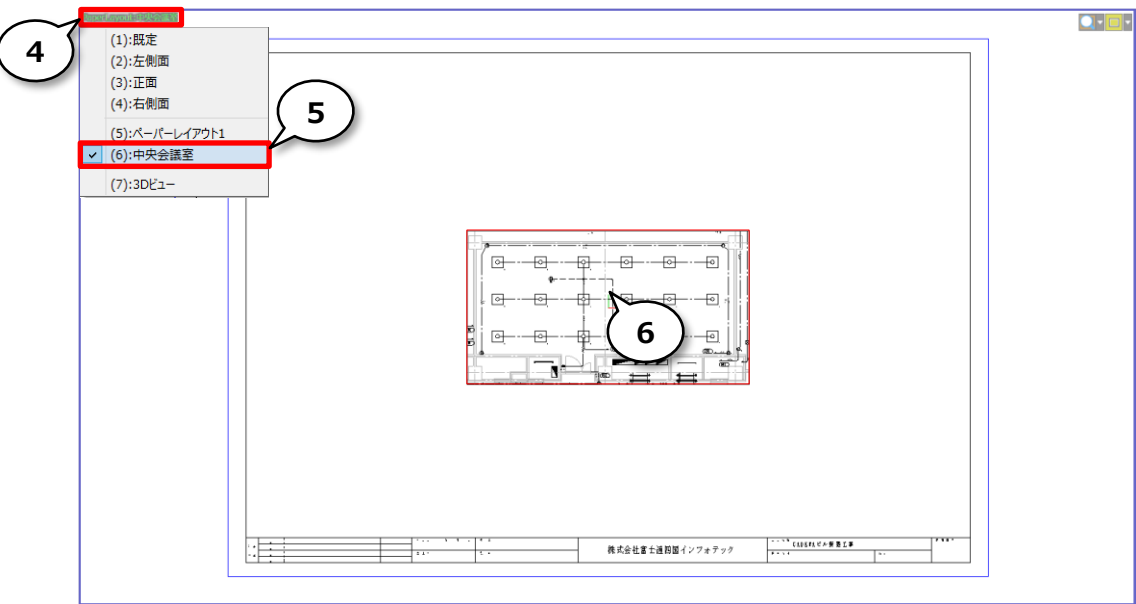


ビューポートの入力レイヤーを指定します。

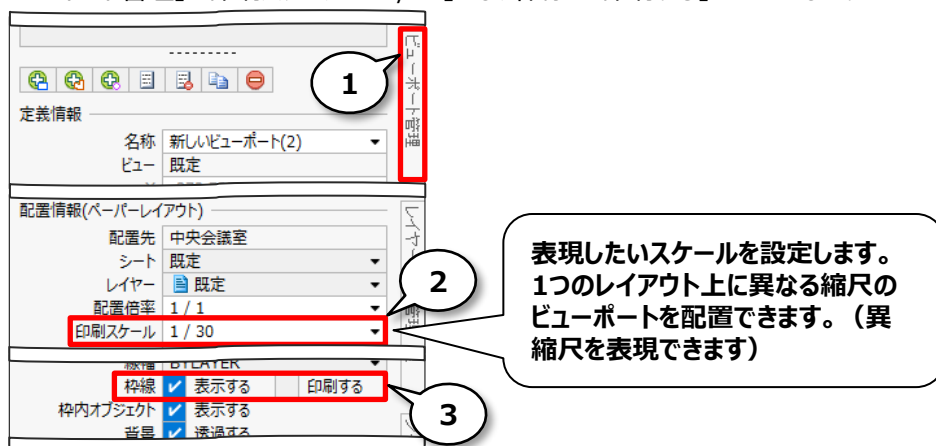


配置の際に指定したレイヤーの表示状態に従ってビューポートの表示・非表示も変わります。他の操作に影響されたくない場合は、ビューポート専用のレイヤーを作成してご利用ください。

ビューを「中央会議室」に切り替えて「ビューポート」を配置します。

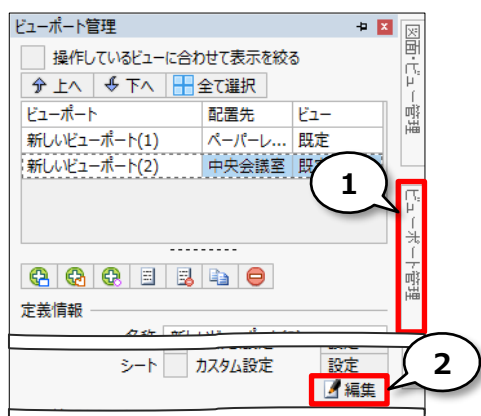


「ビューポート管理」の印刷スケールを「1/30」にし、枠線の「印刷する」をOFFにします。

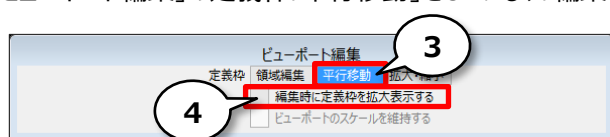


➤ ビューポートの移動

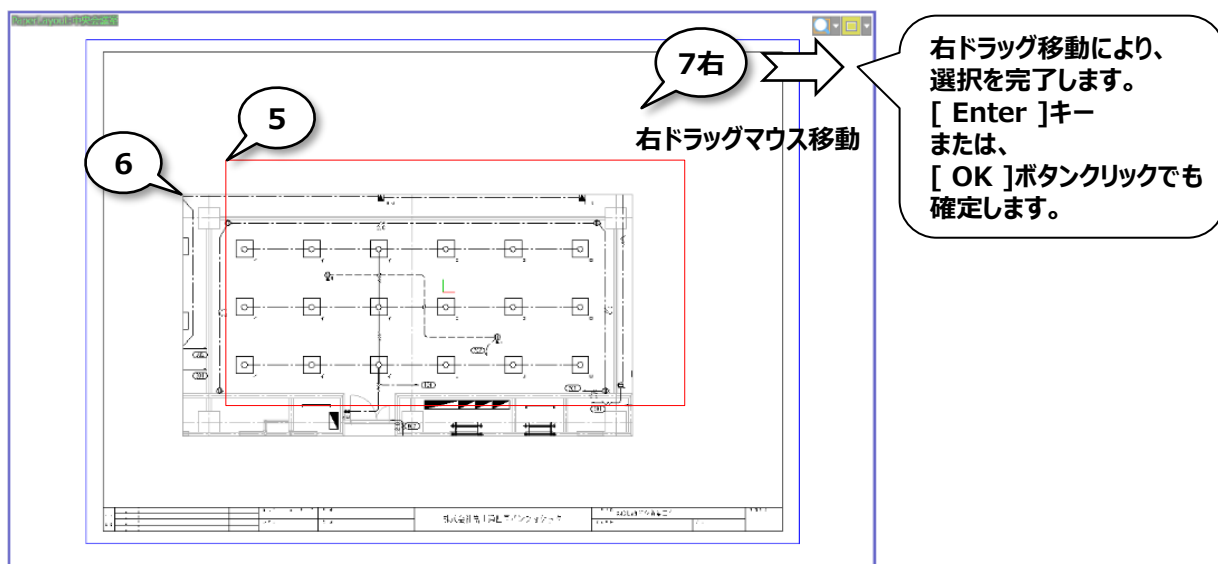
「ビューポート管理」から「編集」ボタンをクリックします。



「ビューポート編集」の定義枠「平行移動」をONにし、「編集時に定義枠を拡大表示する」をOFFにします。



「ビューポート」を移動します。配置の元原点を指定し、配置先を指定したら確定します。



ビューポートの通り芯作画

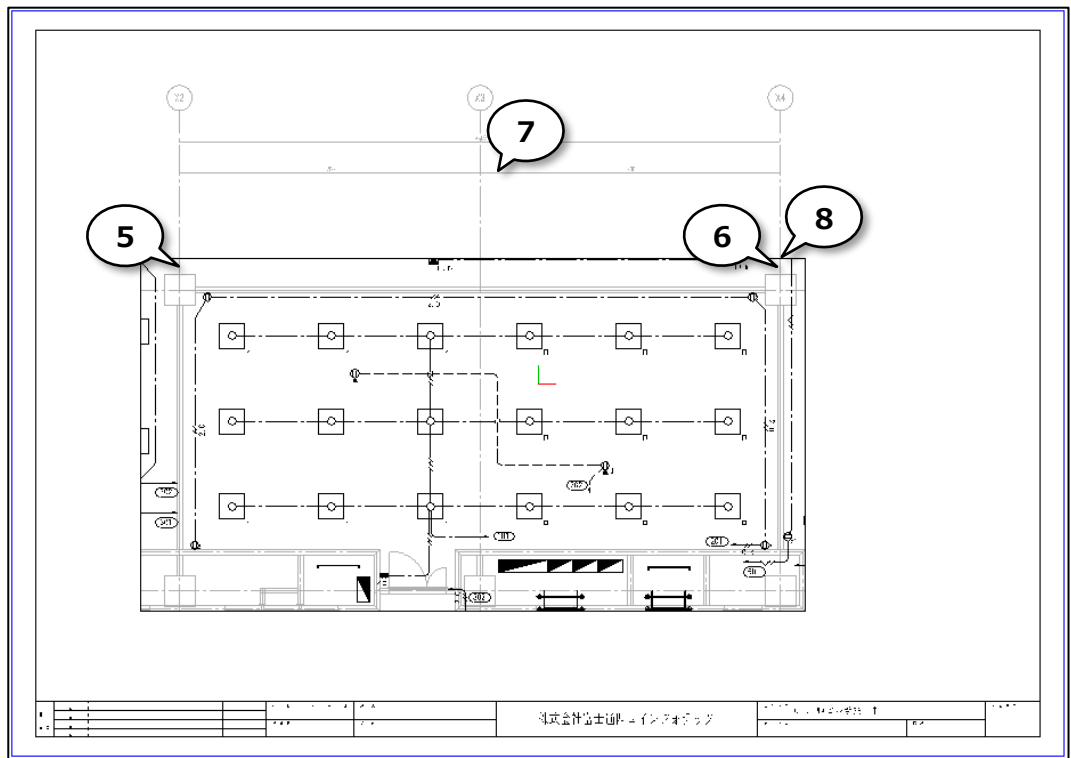
リボンの「建築・鋼材」から「通り芯」を選択します。



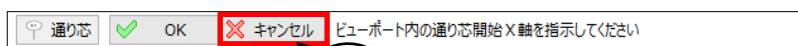
通り芯を作画します。寸法作画位置、記号作画位置を設定し、「X軸指示（PV）」をONにします。



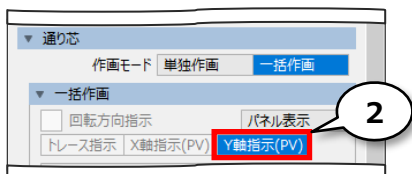
ビューポート内の通り芯開始X軸、終了X軸を指示します。
配置点を指示し後、軸記号引き出し位置を指示します。



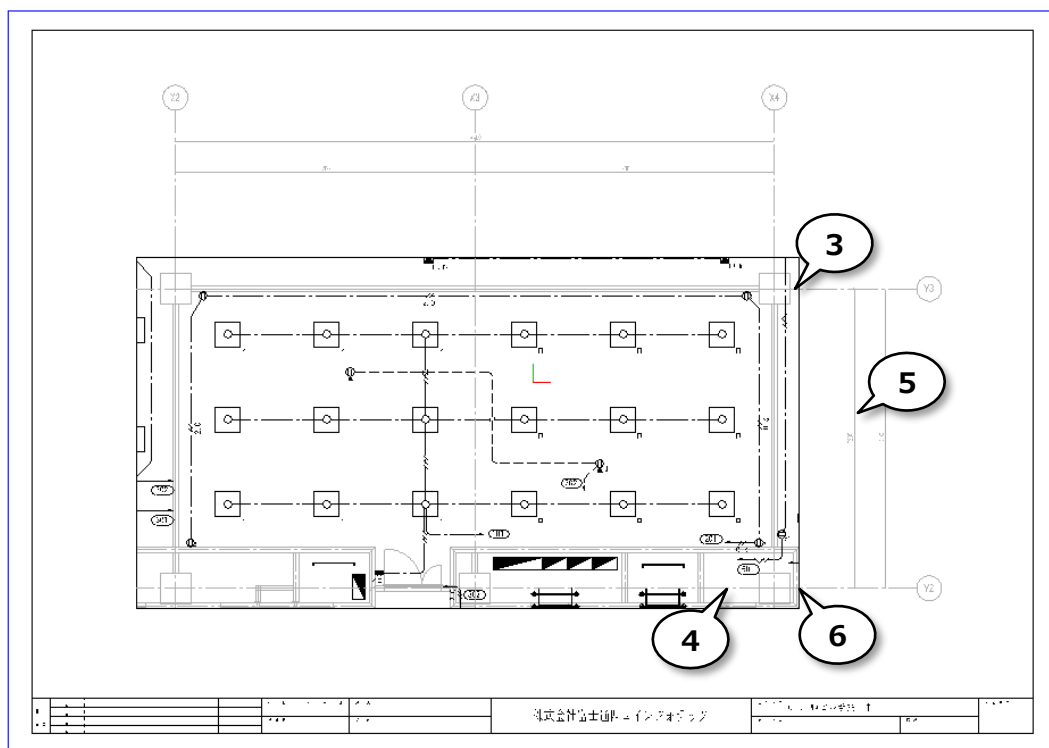
「キャンセル」をクリックします。



「Y軸指示 (PV)」をON にし、Y軸の通り芯を作画します。

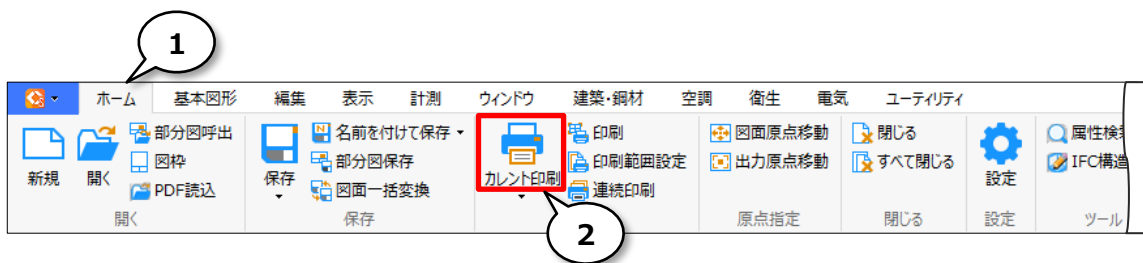


ビューポート内の通り芯開始Y軸、終了Y軸を指示します。
配置点を指示後、軸記号引き出し位置を指示します。



印刷

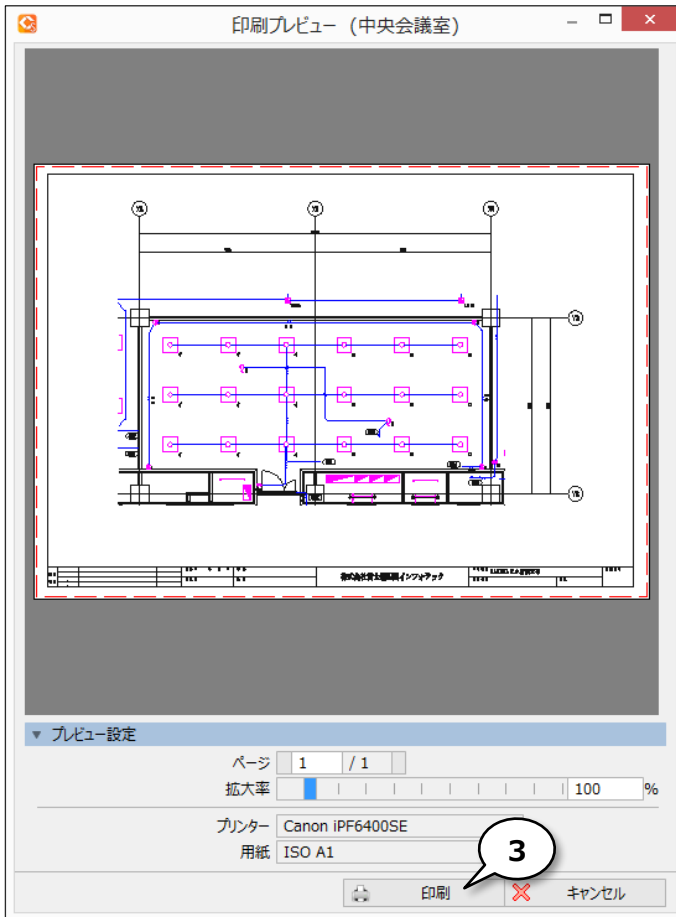
リボンの「ホーム」から「カレント印刷」をクリックします。



「カレントビュー図面印刷」を設定します。（カレントになっているレイアウトが選択状態で起動します。）
プリンター、用紙サイズを選択します。

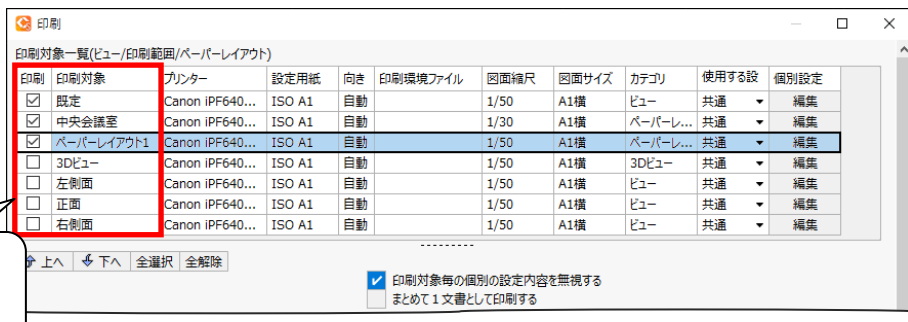
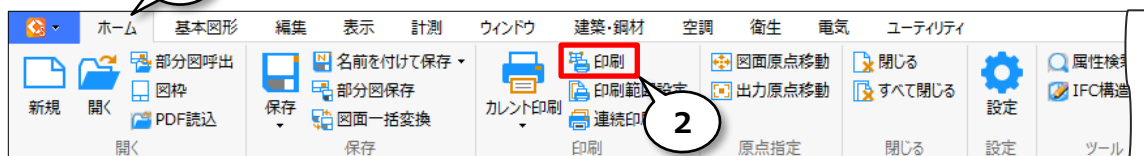


「印刷プレビュー（中央会議室）」を確認し、「印刷」をクリックします。



複数ビュー、ペーパーレイアウトの印刷

「印刷」を選択すると、複数のビュー、ペーパーレイアウトを指定して印刷できます。



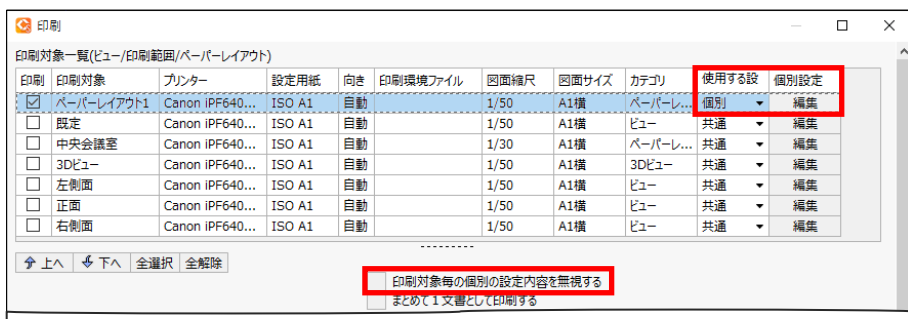
印刷環境設定の保存と呼び出し

よく利用する図面内の印刷環境設定を保存し、他のパソコンや図面でその設定を呼び出して利用することができます。



「共通の印刷設定」と「個別設定」

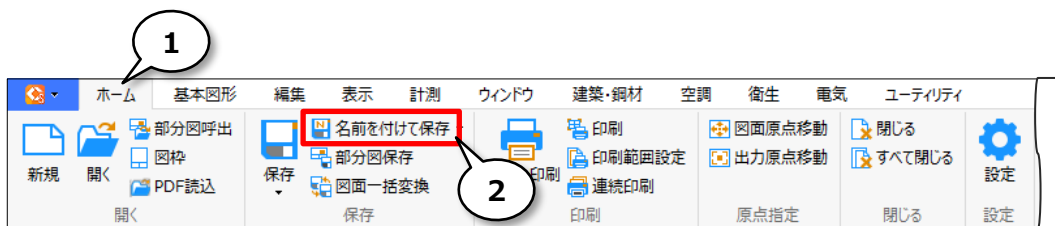
「印刷対象毎の個別の設定内容を見捨てる」をOFFにして、使用する設定「個別」にすると、「共通の印刷設定」とは異なる出力設定で印刷できます。「個別」の出力設定は個別設定「編集」から設定します。



4. 図面を保存しましょう

➤ 図面を保存する

リボンの「ホーム」から「名前を付けて保存」をクリックします。



ファイル名を入力し、「保存」をクリックします。

